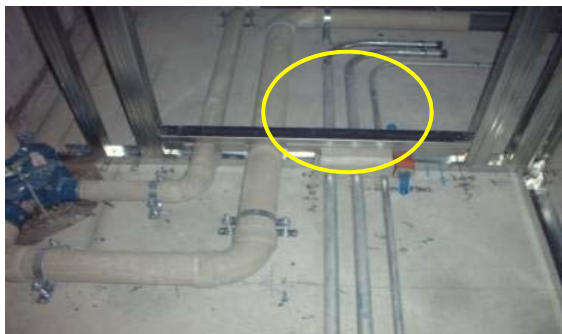


耐火間仕切り貫通配管先行施工

写真・イメージ		概要（効果・特徴・メリット等）													
 住戸境間仕切壁も無い ため、横移動の効率 も良い  角型の貫通用部材を 使用し、後の処理の簡 易化を計った	概要	通常は耐火間仕切り完了後に配管工事を行うが、床上配管を先行配管し耐火区画部分を事前に貫通処理を行うことにより、耐火区画壁の穴明け工程を削減する。													
	工程	<table><tr><td>設計</td><td>躯体施工</td><td>内装施工</td><td>外構施工</td></tr><tr><td></td><td></td><td>○</td><td></td></tr></table>					設計	躯体施工	内装施工	外構施工			○		
	設計	躯体施工	内装施工	外構施工											
			○												
	効果	■ 床上配管を先行配管し耐火区画部分を事前に貫通処理を行い、労務削減と工程の前倒し(労務の平準化)を図る。 ■ 耐火区画壁の開口工事によるゴミ発生量の削減と労務の削減を図る。 <table><tr><td>Q</td><td>C</td><td>D</td><td>S</td><td>E</td></tr><tr><td>△</td><td>○</td><td>◎</td><td>—</td><td>○</td></tr></table>					Q	C	D	S	E	△	○	◎	—
Q	C	D	S	E											
△	○	◎	—	○											
備考 注意事項	・排水集合管の継手施工時に、プレカットした区画貫通1mの配管を施工する。排水配管の勾配確保に注意する。 ・ガス配管のサヤ管及び電気配線の貫通部の配管を施工後に、区画壁下地を施工する。 ・建築内装工事との事前検討を行い、先行配管部分の収まりを合意しておく。														
適用範囲 仕様															
用途	集合住宅 等														